小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。

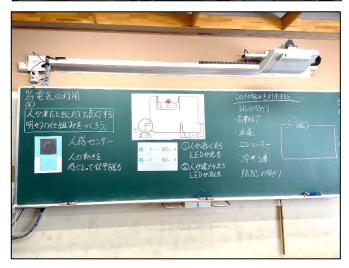
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。	
学習活動名	電気の利用
学年	小学校第6学年
目標	身の回りの電気製品に興味・関心をもち、電気の性質を利用した道具の性質やはたらき
	を理解し、学習や生活に活かそうとしている。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	電子タグ(MESH) タブレット端末(iPad) LED ライト
環境	児童 $4\sim5$ 人につき、 1 台の iPad、 1 セットの MESH、LED ライトを使用
都道府県	東京都
実施校	墨田区立隅田小学校
学習活動の概要・	人感センサーによる照明は、
児童の様子(プロ	児童にとって身近なものであ
グラミングの活動	る。授業の導入では教師から、学 :::
を中心に記載くだ	校のトイレでセンサーライトが
さい。)	あったことを写真とともに紹介

した。児童は、どのような仕組み で照明が点灯するのかを予想し た。

児童は、予想を確かめるため に、電子タグに搭載された人感 センサーを使って、人が近付い たときに照明が点灯する仕組み をプログラムで表した。4人を 基本としたグループで話し合い ながら、タブレット端末を操作 し、ビジュアルプログラミング で組み合わせ、LEDライトが点 灯するかを何度も試した。

児童は、授業の終末にグルー プで考えたプログラムを拡大表 示しながら発表をした。発表を





聞いた後、身の回りで使われている人感センサーが活用されているものを考え、授業で 学んだことを文章で振り返った。

成果と課題

身近に使われているセンサーライトは、プログラミングすることによって制御されて いることを体験的に学ぶことができた。今後は、さらに興味関心を広げる指導する。